



# ボランティア volunteer

2010  
June  
vol.307

# 6

## ボラセンスタッフ日記「ブイログ」 『桜の花びら散るたびに...』

この「ブイログ」は、当ボランティアセンターのスタッフが日々業務の中で感じるボランティア観、社会や地域でおきている出来事について、スタッフの視点で書き込む日記のような記事です。

April.27.2010

息子がこの春小学校に入学しました。私が子どもの頃は入学式に合わせて桜が咲いたので、桜には出会いのイメージがありました。でも今は地球温暖化の影響で入学式には散ってしまうため、桜といえば別れのイメージになってしまいました。

そんな別れのイメージのついた桜を見ると、私には思い出すエピソードがあります。

十数年前、私は社会福祉士という国家資格を取るため専門学校に通っていました。その同級生の中に私と同じ年の女性がいました。彼女は都内の音楽大学のピアノ科を卒業したお嬢様でしたが、同い年ということもあって気が合い、いろいろと話をしました。

ところで私が小学生の頃、同級生にとってもピアノの上手な女の子がいました。音楽の授業や学芸会ではいつもその子のピアノに合わせて歌を歌いました。性格もよく勉強もできる子で、クラスの男子にとっても人気のある子でした。その子とは別々の中学校でしたが、中一のバレンタインデーにチョコレートをもらいました。しかし、それ以来会うことはありませんでした。

その後、風の噂でその子が音楽大学を出たことを知りました。そこで専門学校の同級生である彼女にその子のことを尋ねてみました。すると彼女はとてもビックリして、その子とは大親友で今でも会っている、と目を見張りました。私もビックリしましたが、小学校の頃の話をすると早速連絡を取ってくれました。

数日後、私と彼女とその子は居酒屋でお酒を酌み交わしていました。小学校の同級生と十数年振りに再会してお酒を飲むなんて、まるでドラマの一場面のようななどと話しながら、互いに当時のあだ名で呼び合い、昔話に花を咲かせました。

すっかりいい気分になった二人は仲立ちをしてくれた彼女と別れ、卒業した小学校に向かいました。真夜中の小学校は門が閉じられて真っ暗でしたが、酔った勢いで門をくぐり校庭に入りました。「ここは当時のままだ」、「あそこはこうだった」などと盛り上がり、みんなで作った卒業制作を発見した時には感動が湧き上がりました。そして私はその子を家まで送り、再会を期して別れたのです。

さて、みなさんはその後のストーリーを想像されることでしょうか。お聞きになりたい方はぜひちよだボランティアセンターまでお越しください。  
(かたくら)



### 大規模地震義援金情報



中国西南部青海省で日本時間 4 月 14 日に発生した大地震は、現地が 4 千メートルを超える山岳地で夜間は零度前後になるため、被災者への救援活動は高山病等により困難を極めております。この度、義援金を募集しておりますので、皆さまのご協力をお願いします。

【募集期間】平成 22 年 5 月 29 日(土)まで

【募金箱設置箇所】 ちよだボランティアセンター

高齢者センター(神田神保町 2 - 20)

発行 / 社会福祉法人千代田区社会福祉協議会  
ちよだボランティアセンター

〒101-0065 千代田区西神田 1 - 3 - 4 西神田庁舎 4 階

開室日・時間 月～土曜日(祝日を除く)9:00～19:00

TEL 03-5282-3716 FAX 03-5282-3718

E-mail volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

URL http://www.chiyoda-vc.com/

当センターのホームページは、(株)大塚商会様の社会貢献活動の一環としてご提供いただいております。

### 大規模地震義援金報告

「チリ大地震」義援金集約結果

皆さまのご協力により、20,542円となりました。これらの募金は日本赤十字社を通じ、現地の復興支援に役立てられます。

「ハイチ大地震」義援金(追加分)

日本原子力発電株式会社様 12,406円

ご協力ありがとうございました。